

又自分は、決して株主ばかりの利益をはかつて、従業員の待遇を忘れる様なことは絶對にしないことを明言して置きます、現に、本社は、同業の仲間て、一番早く株主の配當を減らして居るのであります、それは他の造船所と本社との考課状を比較べになればすぐ判ることです、しかし、現在のやうな不景氣な場合は、資本家も、従業員も、一蓮托生の考で、ともかくに力を協せて事業を持ちこたへて行くことに骨を折らなければなりません、どちらかが無理な慾望を出すと、恰度天に向つて唾をはきかけると同様、結局、自分の頭の上へ落ちかゝつて來ると共に共倒れになるのであります。

尙序ながら、これを機會に、會社並に造船界の事柄に就て、自分の考を述べ、諸君の御注意を願ひたいと考へます。

凡そ造船のやうな大工業では、設備に非常な金がかかるもので、本社でも、一昨年來、軍艦の仕事を引き受ける爲めに、造船、造機の工場を擴張し、尙、時代の進歩につ

れて、つぎ／＼と設備の改良をせなければならぬのですが、さて理想の通りに改めることにすると、一時に仕事は上つて行くでせうけれど、之れがため、資本が増すと同時に利益が減り、勢ひ従業者の取り分が少くなつて來ると云ふ心配があるので、不便とは知りつつも、是非なく我慢をせなければならぬ場合が澤山あるのであります、現に、本工場で「タービン」の製造を始めてはどうかと、勸めて呉れる向も随分ありまして、自分でも早晩やつて見たいとは思つて居りますが、これには可なり設備に金がかかるばかりでなく、この上勞銀がずん／＼増して行くやうだと、うつかりこんな仕事に手も出せないと考へて居ります。

又、外國に於ける仕事の模様や機械の取扱方などを調べるために、適當な人を洋行させる費用や、新しい技術を研究するために要する費用なども、相當出さなければならぬとは思つて居るのですが、多少の利益を見たとてなければ、さう／＼出されもせないので、どうしても此際、われわれは相當の利益をあげることに、全力を注がな